

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2019年8月25日作成 第1.0版

研究課題名	高齢者 triple-negative 乳癌の病理学的特長と予後の関係についての研究 一般社団法人 日本乳癌学会 第24回班研究
研究の対象	2002年から2013年までの期間に当院において原発性乳癌の手術を受け、トリプルネガティブ乳癌の診断を受けた閉経後の方。
研究目的 ・方法	<p>一般的に triple-negative 乳癌は、ホルモン療法も抗 HER2 療法も効かない化学療法が必要な癌として知られています。しかしながら、高齢者への化学療法の適用は身体への負担が大きい懸念があるため、高齢者 triple-negative 乳癌をどのように治療すべきかはわかっていません。そこで、日本乳癌学会 第24回班研究「高齢者乳癌の特徴と治療のあり方、支援に向けた研究」の一環として、高齢者 triple-negative 乳癌のうち、本当に化学療法が必要な癌はどのような癌であるのかを知ることを目的として本研究を計画しました。本研究は東邦大学医学部、東京都健康長寿医療センター、愛知県立がんセンターおよび当院による多施設共同研究です。</p> <p>この研究で得られる成果は、高齢者の triple-negative 乳癌に対しての治療を最適なものにつなげられます。病理検査後に残った試料を用いて種々のマーカー発現を免疫組織学的に調べ、診療録(カルテ)から抽出した手術成績とともに解析することにより、手術成績に影響を与える因子を調査します。</p>
研究期間	西暦 2019年 10月 10日 ~ 西暦 2022年 3月 31日
研究に用いる 試料・情報の 種類	手術で摘出した検体のうち、病理検査後に残った試料の薄切標本を用いる。 生年月日、性別、両側乳癌有無、乳癌家族歴、身長、体重、月経状況、腫瘍の大きさ、胸壁固定と皮膚変化の有無、TNM 分類 T・N・M、術前治療の有無・術前化学療法種類、術前内分泌療法種類、術前分子標的薬・抗体療法種類、術前放射線療法有無、術前治療その他、乳癌の性質を決めるエストロゲン受容体 (ER)・プロゲステロン受容体 (PgR)・ヒト上皮成長因子受容体 (HER2)、手術日、術式、腋窩リンパ節郭清の詳細、術後原発巣の大きさ、リンパ節転移陽性個数、術後 ER・PgR・HER2、組織型、術後補助治療の有無・術後化学療法種類、術後内分泌療法種類、術後分子標的薬・抗体療法種類、術後治療その他、術後放射線治療の有無、照射部位、最終確認日、生存、再発の有無、再発確認日、再発部位、再発後治療など
外部への 試料・情報の 提供	試料・情報は東邦大学医学部病理学講座へ、匿名化された状態で送られます。 試料は郵送、診療情報はパスワードをかけた状態で電子メールを介して送付します。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

外部からの 試料・情報の 取得と保管	該当なし
研究組織	一般社団法人 日本乳癌学会 第24回班研究
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>	
<p>問合せ先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 乳腺外科 横浜市立大学大学院医学研究科 消化器・腫瘍外科 （研究責任者）山田 顕光 電話番号：045-787-2650（医局） FAX：045-782-9161</p> <p>東邦大学医学部 病理学講座 （研究代表者）本間尚子 電話番号：03-3762-4151（内線 2382）</p>	